

自己点検・評価報告書

動物実験に関する自己点検・評価報告書

長崎県立大学

平成 24 年 3 月

自己点検・評価報告書

． 規程及び体制等の整備状況

1． 機関内規程

1) 評価結果 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 長崎県立大学動物実験規程（平成 23 年 12 月 6 日規程第 37 号） 長崎県立大学動物実験委員会規程（平成 24 年 3 月 6 日規程第 1 号） 長崎県立大学動物実験利用細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程および細則の内容は基本指針の趣旨に沿っている。したがって、動物実験に関する機関内規程の整備状況についての自己点検・評価は妥当と判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2． 動物実験委員会

1) 評価結果 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 長崎県立大学動物実験委員会規程（平成 24 年 3 月 6 日規程第 1 号）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規定にしたがい、5 名の委員で構成される動物実験委員会が設置され、基本指針に即した適正な運営が行われている。したがって、動物実験委員会の整備状況についての自己点検・評価は妥当と判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

自己点検・評価報告書

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 長崎県立大学動物実験規程(平成23年12月6日規程第37号) 長崎県立大学動物実験委員会規程(平成24年3月6日規程第1号) 長崎県立大学動物実験利用細則
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験計画の立案、審査、承認および結果報告については規定で定められており、それにしたがった手続きが行われている。それらの手続きに必要な各種様式も定められており、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。したがって、動物実験の実施体制についての自己点検・評価は妥当と判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 長崎県立大学動物実験規程(平成23年12月6日規程第37号) 長崎県立大学動物実験利用細則 長崎県立大学放射線障害予防規程(平成20年4月1日規程第10号) 長崎県立大学放射線障害予防施行細則(平成20年4月1日細則第5号)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 本学では遺伝子組換え動物実験および感染動物実験は行われていない。 放射性同位体を用いる実験を行う際には、それぞれ安全管理を目的とする規定や細則が定められ、それに沿って行われている。以上のことから、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制についての自己点検・評価は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

長崎県立大学動物実験規程(平成23年12月6日規程第37号)

長崎県立大学動物実験委員会規程(平成24年3月6日規程第1号)

長崎県立大学動物実験利用細則

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

規程および細則にしたがい、本学の動物実験施設では、学長指名により動物実験施設長が置かれ、数名の実験動物管理運営委員がこれを補佐する体制がとられている。動物実験室の運営、実験動物の飼養管理、施設内の設備などに関する実務的な業務を行っている。基本的な管理体制は整備されており、実験動物の飼養保管の体制についての自己点検・評価は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし

自己点検・評価報告書

．実施状況

1．動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 長崎県立大学動物実験規程(平成23年12月6日規程第37号) 長崎県立大学動物実験委員会規程(平成24年3月6日規程第1号) 動物実験計画申請資料
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会は、委員会規程の所掌事項に定められているように、動物実験計画の審査の他、動物実験の実施状況の確認、実験室内環境の調査、実験者の教育訓練、自己点検・評価などを行っており、基本指針に則した委員会の機能を果たしている。したがって、動物実験委員会の活動について、自己点検・評価は妥当と判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2．動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 動物実験(変更・追加)計画書 実験動物搬出・処分・死亡届 動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 平成23年度は35件の動物実験計画についての審査を行い、全て学長の承認を得て実験は実施された。動物結果報告書等の必要書類も適正に提出され、計画に沿った適正な動物実験が実施されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の内容は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書

長崎県立大学放射線障害予防規程(平成20年4月1日規程第10号)

長崎県立大学放射線障害予防施行細則(平成20年4月1日細則第5号)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

本学では遺伝子組換え動物実験、感染動物実験は実施されていない。放射性同位元素を用いる動物実験に際しての必要な実験施設、安全設備は十分に整備されている。実験は、実験計画書にそって各規程・細則を遵守し適正に実施されており、安全管理上、問題となる事例は認められない。したがって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

長崎県立大学動物実験利用細則

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
細則には、飼養保管の手順等が具体的に定められており、それにしたがって動物実験施設長は実験動物管理運営委員とともに飼養保管についての業務内容の把握と改善につとめている。したがって、実験動物の飼養保管状況についての自己点検・評価は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期
特になし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果
基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料
動物実験施設内の室温および湿度変化の記録。

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験施設内の室温および湿度管理については、1時間ごとにモニターされた結果が本学中央監視室(エネルギーセンター)より毎日施設長に送付されており、異常の有無を常に確認できる体制が整っている。また、動物飼育室内の明暗調整については、12時間おきに自動点滅するタイマーを装備している。その他、施設内の白衣および下足用ロッカーはUV殺菌灯つきのものを使用し、感染等に対するリスク管理を行っている。したがって、施設等の維持管理の状況についての自己点検・評価は妥当と判断する。

4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料
長崎県立大学動物実験規程(平成23年12月6日規程第37号)

自己点検・評価報告書

長崎県立大学動物実験利用細則 教育訓練実施記録および受講者名簿
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験実施者に対する教育訓練の実施記録や受講者の記録により、基本指針に則した教育訓練が実施されていると判断する。 平成23年度第1回目実施日(平成23年4月25日) 受講者数77名 第2回目実施日(平成23年7月20日) 受講者数30名
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する自己点検・評価(平成23年度・本報告書)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価については、学内規程の改正をうけ今年度より実施し、本報告書を作成した。また、大学のホームページで本報告書を公開する。したがって、自己点検・評価、情報公開について、適正に実施されていると判断する。
4) 改善の方針、達成予定時期 必要が生じた時には迅速に対応し改善する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし
